

# デイサービス・宅老所 れもん

## 代表の 鴨田 泰英さん



Yasuhide KAMOTA

### きっかけは？

大学を卒業後、大手信販会社で水戸市を皮切りに、札幌市などの営業を中心に23年間勤務した。平成元年からの7年間、札幌支店に勤務したが、その間に両親が相次いで他界した。母親の危篤の知らせを受けて病院に駆けつけたときには、既に意識が無く「身体中チューブにつながれた状態の母親の姿を見て涙が止まらなかった」。当時33歳の時でした。その4年後には父親も母の後を追うようになくなった。その時感じたのは両親がいなくなった寂しさと若いころから親孝行らしいことを一度もしていないことへの後悔でした。

### デイサービスとの出会い

そんな折、たまたま立ち寄った本屋で「あなたが始めるデイサービス」という本を見つけ初めてデイサービスの存在を知った。その本を読み感じたことは、「生きていれば両親と同年代の方々を支援することで、親孝行できなかった自分を癒すことができ、又地域の人達のためにもなる」ということでした。

昭和33年生まれ48歳。大学卒業後、上場企業に23年間勤務。早期退職制度を利用し平成15年9月退職。その後は、千葉県商工会連合会起業塾、我孫子市コミュニティビジネス起業講座を受講。平成16年4月に有限会社トータル・サイドサポートを設立し同年6月1日に我孫子市下ヶ戸に『デイサービス・宅老所 れもん』を開業。

### 私にとってのCB

私の場合、たまたま福祉という分野だが、コミュニティビジネスとは地域で抱える様々な問題を事業機会として捉え事業化していくことだと思う。たしかにコミュニティ＝狭い商圈地域であるので大きく事業展開するというのは難しい話だと思うが、それでもコミュニティビジネスを通じて、サラリーマン生活では信じられないくらい様々な人々との出会いや、少しでも地域の人々に対して社会貢献できているのかなと思っている。

### 新しいICBへの挑戦

ちょうど会社の45歳以上の社員を対象とした早期退職制度を利用し平成15年9月に会社を辞め、介護施設の運営を行う決心をした。

### 起業するための3つの秘訣

自分も癒され、地域の社会貢献になる

起業するには、その分野でそれなりの思い入れは絶対に必要

自分は何を目的に起業したんだという強い信念は必ず必要

## デイサービス・宅老所 れもん

### 連絡先

TEL 04-7181-8966

FAX 04-7181-8977

E-mail

day\_lemon@nifty.com

Web

### 組織概要

予算規模 資本金300万円。収入のほぼ100%は介護保険からの収入となる。介護度により保険収入は異なるが、月間延べ240名の方々が「れもん」を利用している。

会員・社員数 従業員7名（正社員・パート職員含む）

事業概要 通所介護事業 朝、自宅まで迎えにいき日中「れもん」にて過ごしていただく。その間、昼食を提供し、入浴の介助もおこなう。夕方、自宅までお送りする。

PR

デイサービス・宅老所「れもん」は築30年の古民家を利用したデイサービスです。定員13名の小さな施設だから、スタッフや利用者の方々と家族のようなお付き合いができています。昼食は、栄養士さんが作る食物繊維を意識した完全手作り料理で利用者さんからの評判は上々！！。また、昔懐かしい空間とアットホームな雰囲気の中で「ゆったり・のんびり・たのしく」をモットーに「今日は来て楽しかった。」「また来るのが楽しみだ」と思って頂くことを念頭において日々の活動を続けております。